

2024年3月29日

第9回 ONE ジャパン ターミナル安全・品質大会を開催

オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン(ONEジャパン)は3月13日、『第9回ONEジャパンターミナル安全・品質大会(中部大会)』を名古屋港湾会館で開催しました。ONEジャパンターミナル安全・品質委員会(委員長:中井拓志代表取締役社長)主催のもと、中部地区のパートナー会社をはじめとする関係者約40人が参加し、各社が実施している安全活動や今後の重点的な取り組み方針を報告しました。



開催にあたり、中井委員長は「輸送品質の維持・向上は最重要課題だ。事故の撲滅は決して容易ではないが、原因を深掘りすることで発生件数を減らす取り組みは非常に大切と考えている。ONEとしても、安全パトロールなどを通じて活動範囲を広げていきたいと考えており、日々の積み重ねを大切にしていって輸送品質の向上に努めたい」とあいさつしました。

大会では、北村幸一委員(執行役員)が、ONEが実施している安全キャンペーンの概要について説明。また23年度中に発生した事故について統計をもとに振り返りを行いました。その後、パートナー各社が事故の防止や作業品質の向上に向け、どのような対策や工夫を行っているかについて、最新の事例をもとに報告を行いました。

続いて戸田潤副委員長(取締役専務執行役員)は「先日も訪船する機会があったが、大変な悪天候の日で、改めてパートナー各社で勤務される方々が大変な環境下で作業をして頂いていることを実感した。ONE の港湾安全監督制度は21年度から開始、現在は11人まで増えている。これを将来 50 人まで増やしたいと考えており、パートナー各社とともに安全対策に一層力を入れていきたい」と語り、協力を呼びかけました。

大会の閉会にあたっては、安全活動・事故対応評価において最高評価となる S ランクを獲得されたパートナー会社および安全推進活動で上位のパートナー会社に対し、表彰を行いました。最後に池山恵介委員(執行役員・中部支店長)は「当社にとって最大の使命は、サプライチェーンを維持し、顧客へ提供を続けること。足元でも喜望峰迂回問題やパナマ運河渾濁問題などサプライチェーン維持を脅かす課題も多いが、それらを解決し毎週定曜日に船を回すことが大事で、その基礎が安全運航なので、輸送品質維持・向上に向けて皆さんと一緒に知恵を出し合ってすすめていきたい。」とあいさつし、輸送品質向上に向けた決意を示しました。